

臓器を提供した人の家族の話

娘は進んでお手伝いをしたり、困っている子がいるれば寄り添って声をかけてあげるような、とても心の優しい子でした。臓器提供という形で病氣に苦しむお子さんを助けることに、娘はきっと賛同してくれる信じています。こうして娘が短い人生の最期に他のお子さんの命を救うことになれば、僕された私どもにとって大きな慰めとなります。

そして、もし我が家が子が臓器移植でしか助からない疾患を持って生まれてきいたら、私どもも臓器提供を必死に待ち望んだことでしょう。しかし臓器提供たします。

臓器移植を受けた人の話

20歳代の時に心臓移植を受けた女性

多くの人に臓器移植のことを知つてもらいたい
移植を受けた3年間でした。
その間のことをつないでくれたのは人工心臓でした。0歳で機械の人工心臓は二度かぎり、常に「死」が頭の中にありました。夜、ポンペーの「コッコツ」という音を聞きながら眠りにつき、朝、目がやめで「コッコツ」という音が聞こえと、「一晩、生きられた」と、ほっとします。でも、明日の朝をあえると不安で落ち込んでいました。移植がうまくいき、今までショッピングや散歩、います。

サンクスレター(感謝の手紙)

移植を受けた患者さんは、臓器を提供してくれた人のご家族に絵や手紙などで感謝の気持ちを表現し、移植コーディネーターを介し、やり取りすることができます。※ただし実名は出せません

(公社)日本臓器移植ネットワークのホームページ
<https://www.jotnw.or.jp/>

臓器提供の意思表示

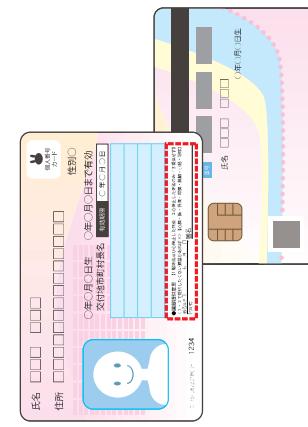
「意思」という言葉は、「はつきりとした気持ちは」のことです。臓器を提供したくない人も提供したい人も、自分の意思を正確に伝えるための良い方法は、臓器提供意思表示カードや健康保険証の裏などに書いておくことです。

この「意思表示カード」は、「自分の臓器を提供したくない」という意

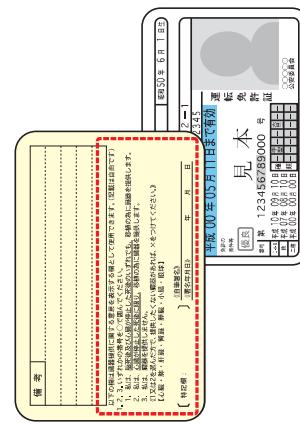
思も、「提供したい」という意思も書いておくことができます。「提供したい」という意思を書くのは15歳以上が有効ですが、「提供したくない」という意思(15歳未満でも)も有効です。最終的な判断はご家族がするため、意思表示カードに書いておくことで、家族に自分の意思を確実に伝えられるのです。

臓器提供意思表示カードなどの様式

○臓器提供意思表示カードの意思表示欄(例)



○運転免許証の意思表示欄(例)



(公社)日本臓器移植ネットワークのホームページでも臓器提供意思登録ができます。

移植経験者や臓器提供者の家族の手記を(公社)日本臓器移植ネットワークのホームページで紹介しています。 <https://www.jotnw.or.jp/note/>

